



A 6 1 P	3 / 0 6	
A 6 1 P	1 / 1 6	
A 6 1 P	3 / 0 0	
A 6 1 K	3 9 / 3 9 5	N
C 0 7 K	1 6 / 1 8	Z N A
C 1 2 N	1 5 / 1 3	Z N A
C 1 2 N	1 5 / 6 3	Z
C 1 2 N	1 / 1 9	
C 1 2 N	1 / 1 5	
C 1 2 N	5 / 1 0	
C 1 2 P	2 1 / 0 8	
C 1 2 N	1 / 2 1	
C 1 2 N	1 5 / 1 3	

10

**【手続補正書】****【提出日】**令和7年5月12日(2025.5.12)**【手続補正1】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項1】**

カスパーーゼ活性化リクルートメントドメイン含有アポトーシス関連スペック様タンパク質(A S C)に特異的に結合するモノクローナル抗体又はその抗体断片をコードする核酸であって、前記抗体又は前記抗体断片は、重鎖可変(V H)領域及び軽鎖可変(V L)領域を含み、

前記V H領域のアミノ酸配列は、配列番号6のH C D R 1、配列番号7のH C D R 2、及び配列番号8のH C D R 3を含み、

前記V L領域のアミノ酸配列は、配列番号12のL C D R 1、配列番号13のL C D R 2、及び配列番号14のL C D R 3を含む、

核酸。

**【請求項2】**

前記V H領域のアミノ酸配列は、配列番号18、19、20、21又は22を含み、

前記V L領域のアミノ酸配列は、配列番号28、29、30又は31を含む、

請求項1に記載の核酸。

**【請求項3】**

前記A S Cは、ヒトA S Cタンパク質である、請求項1又は2に記載の核酸。

**【請求項4】**

前記抗体断片は、F a b、F(a b')2、F a b'、s c F v、単ードメイン抗体、又は二特異性抗体である、請求項1～3のいずれか一項に記載の核酸。

**【請求項5】**

前記モノクローナル抗体又はその抗体断片は、ヒト化されているか、又はキメラである、

請求項1～4のいずれか一項に記載の核酸。

**【請求項6】**

請求項1～5のいずれか一項に記載の核酸分子を含む発現ベクター。

**【請求項7】**

核酸分子は、宿主細胞中での核酸セグメントの発現に適した調節配列に作動可能に連結されている、請求項6に記載の発現ベクター。

**【請求項8】**

請求項 6 又は 7 に記載の発現ベクターを含む組換え宿主細胞。

**【請求項 9】**

カスパーゼ活性化リクルートメントドメイン含有アポトーシス関連スペック様タンパク質(ASC)に特異的に結合する抗体又は抗体断片を製造する方法であって、核酸分子が発現される条件下で、請求項 6 又は 7 に記載の発現ベクターを含む組換え宿主細胞を培養し、それにより、ASC に特異的に結合するモノクローナル抗体又はその抗体断片が産生されることを含む方法。

10

20

30

40

50